

1 あなた



谷川俊太郎/文  
長新太/絵  
福音館書店

1200円

E

「わたし」のまわりには「わたし」以外のたくさんの「あなた」がいます。みんなひとりの人間です。「わたし」はひとりでは生きていけないくて、多くの人に支えられています。人は助け合って生きていることを考えさせられる一冊です。

2 ありがとうっていいもんだ



森山京/作  
ささめやゆき/絵  
文溪堂

1300円

91E012

言いたくてもなかなか言えない「ありがとう」のことばをようやく言えたとき、うれしい気持ちになります。自分が言うのも、自分に言われるのもうれしくなる気持ちに変わりありません。そんな「ありがとう」という言葉をきっと使ってみたくなるお話です。

3 ええところ



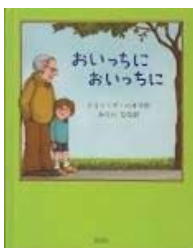
くすのきしげのり/作  
ふるしょうようこ/絵  
学研教育出版

1300円

E

「わたしの『ええところ』って、どこなのかな？」友達にきいたら「明日までに考えてくる。」って言われてしまいます。わたしには、「ええところ」ってあるのかな。悩んでいる時、かけてもらった友だちの言葉に心が温かくなります。そして、見つけた「ええところは」・・・。

4 おいっちにおいっちに



トミー・デ・パオラ/作  
みらいなな/訳  
童話屋

1500円

E

ポビーとおじいちゃんは、赤ちゃんの頃から親友です。歩き方を教えてくれたのはおじいちゃん、「おいっちに おいっちに。」というかけ声と一緒に。ある日、おじいちゃんが病気になってしまいます。今度は、ポビーがおじいちゃんを助けます。「おいっちに おいっちに。」感動いっぱいの一冊です。

5 おひさまやのおへんじシール



茂市久美子/作  
よしざわけいこ/絵  
講談社

1100円

91E012

「おひさまや」というお店では、不思議なものを売っています。それは持っているとうれしくなるものばかり。なかでも「おへんじシール」を持っていると、外へ出かけるのが楽しくなります。あたたかい気持ちになれるお話です。

6 くまくと6匹きのしろいねずみ



クリス・ウォーメル/  
作・絵  
吉上恭太/訳  
徳間書店

1500円

E

ぬいぐるみのくまくんが、森へ散歩に出かけると、「たすけて！ぼくたち食べられちゃう！」6匹の白いねずみに助けを求められます。くまとねずみは、どのようにして森をぬけることができるのでしょうか。ユーモア溢れる一冊です。

7 げんききゅうしょくいただきます！



つちだよしはる/作・  
絵  
童心社

1333円

E

私たちが食べている給食は、どうやって作られているのでしょうか。野菜を作ってくれる人、魚をとってくれる人、料理を作ってくれる人……。いろいろな人たちのおかげでおいしい給食が食べられます。イラストと共に楽しく読み進められる一冊です。

8 たまごってふしぎ



アリス&マーティン・  
プロベンセン/作  
こみやゆう/訳  
講談社

1600円

E

ここに「たまご」があります。さて、何の「たまご」でしょう。わたしたちの周りには、たくさんの「たまご」があります。小さなものから大きなもの、模様のついているもの、柔らかいもの……。これらは、一体何の「たまご」なのでしょう。「たまご」の不思議にふれることのできる一冊です。

9 ちいさなともだち  
星ねこさんのおはなし



にしなさちこ/作・絵  
のら書店

1200円

91C011

ねことさかなが、ひよんなことと出会い、一緒に暮らしていきます。さかなのために、ねこはいろんなことをしてあげます。仲良く暮らしていた二人にも、やがて別れがやってきます。ねことさかなの友情を描いた心温まる一冊です。

10 トラのじゅうたんに  
なりたかったトラ



ジェラルド・ローズ/  
文・絵  
ふしみみさを/訳  
岩波書店

1400円

E

王さまの住む宮殿の中に置いてある、トラのじゅうたんになりたいと願うトラの、ユーモアたっぷりのお話です。じゅうたんになりきろうとするトラの奮闘ぶりには、思わずクスリ、とさせられます。絵本の中のトラの表情も豊かで、楽しめるストーリーです。

1 1 中をそうぞうしてみよ



佐藤雅彦 + ユーフラ  
テス/作

福音館書店

900円

E

いすや貯金箱など身近にあるもので、目に見えない中身の部分がいったいどうなっているのか、読み手に想像力を働かせる写真絵本です。問題提起と種明かしが交互に現れるようになっており、ページを開く楽しみがあります。

1 2 はなこ 野の花 野のきつね



しんきみこ/作  
なかいともこ/絵  
福音館書店

1300円

913012

母親の愛情をたっぷり受けて育つきつねの子はなここと、人間の女の子さちとの温かい心の交流を描いた作品です。人間の子とも仲良くなるための、はなこのけなげなふるまいは読み手を切なくさせます。

1 3 はばたけ！ツバメ



孝森まさひで/しゃし  
んとぶん  
そうえん社

1100円

487012

毎年、ぼくの町にやってくるツバメ。このツバメ、ぼくの町でどのように過ごしているのでしょうか。写真と文章で、ツバメの子育てや旅立ちの様子など、分かりやすく紹介してあります。自然の中に入り込んでしまうような一冊です。

1 4 めそめそけいくん、のち、青空



矢部美智代/作  
長田恵子/絵  
学研教育出版

1300円

917012

けいくんは、思ったことを上手に話すことができず、すぐに涙が出てきてしまいます。そんなけいくんの所へ、犬のクマがやってきます。大好きなクマと散歩へ行くと、知らない女の子が……。けいくんは、女の子と話すことができるのでしょうか。心が温まる一冊です。

1 5 やくそくだよ、ミュウ



小手鞠るい/作  
たかすかずみ/絵  
岩崎書店

1000円

913012

家族の一員として、いつも一緒に生きてきた飼い犬との別れは受け入れがたいものです。生きているものには寿命があること、そして亡くなったあとも思い出として胸の中に生き続けてくれることを実感できるお話です。